

第2回 進路説明会



駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

平成24年10月13日(土)

進路決定のために

- 将来の希望する職業のイメージはあるか
- 進もうとする上級学校について理解しているか
- 将来の希望と自分の特性等を照らし合わせて考えているか
 - 学力・興味関心・性格・体力・保護者や家族の考え
- 進路計画・学習はどうか→これまでの努力・適性

合格の可能性とその判断

- **実力**の客観的な判断
- **第二志望**の学校をどこにするか
(私立高校の併願優遇の制度を利用するか)
- 今後どのような**努力**をすればよいのか

三者面談への取り組み

- 家族で十分に話し合い共通認識を持って臨む。
- 疑問点などは相談しすぐに解決する。
- 三者面談は自分の決意表明の場でもある。
- アドバイスには素直に耳を傾け謙虚に努力する姿勢を持つ。
- 受験予定校が決まったら「学校案内」「募集要項」「過去問題集」なども手に入れ万全な準備を!

志望校決定のポイント

- 3年間通いきれるか 【距離】
- 学習面でどのくらいの位置についていけるか 【成績】
- 本当にその科・コースに進みたいのか 【希望】
- 経済的に不安はないか 【経済】
- 本人の意志を優先しているか 【本人の意志の尊重】
- 納得のいく選択か 【自主的な選択】
- 将来の見通しをどれくらいもっているか 【目標】
- 推薦入学でよいのか 【自己の可能性を考慮しているか】

都立高校の入学者選抜

- 文化・スポーツ等特別推薦の実施
- 特別選考の実施
- 国語・数学・英語の3教科を自校で作成
- チャレンジスクール及びチャレンジ枠
- 分割募集の実施
- エンカレッジスクール
- 男女定員制の緩和



推薦に基づく選抜

○ 日程

【出願】 1月24日(木)

【検査】 1月27日(日)

28日(月)

【発表】 2月 1日(金)

◆ 推薦基準

評定の基準はない

一般推薦

校長が推薦にふさわしいと認めた場合応募できる。

特別推薦

特別推薦実施校が定めた基準に該当する者が応募できる。



出願方法・手続【都立推薦】

- 1校1コースまたは1科に限り出願できる

志願変更はできない

◆志望する同一の高校内に2科(2分野)以上ある場合は第2志望として他の1科(1分野)に限り指定することができる。

【特別推薦の場合】

当該校の一般推薦にも出願できる。



出願手続き【都立推薦】

- 入学願書
- 調査書
- 推薦書
(一般・特別は別用紙)
- 自己PRカード
- 入学考査料

【特別推薦の場合】

- ☆ 活動実績などを証明する書類
- ☆ 一般推薦と同時に出願の場合 **両方に入学考査料**がかかる

定時制課程単位制・チャレンジスクール・通信制課程・海外帰国選抜・産業技術高専は各都立高校所定



選考【都立推薦】

(検査内容)

一般

集団討論 個人面接

小論文又は作文、実技検査

のうちから一つ以上

特別

個人面接又は集団面接

実技検査

★特別推薦と同時に一般推薦を志願する者は一般推薦において実施する面接、小論文か作文、実技検査も課する。

選考の基本方針【都立推薦】

- 総合的に判断
- 調査書…必修教科の観点別の評価か評定のどちらか一方を点数化する。
 - * **観点別**については各高校の特色に応じて特定の観点の配点を高くするなどして活用
 - * **評定**の場合は傾斜配点なし
- ☆ 自己PRカード
 - …点数化しないが面接において資料として活用

特別推薦

活動実績などを証明する書類にも十分配慮



発表・手続き【都立推薦】

- 願書提出校で発表
- 高校によりホームページ掲載もある。

合格したら...

★入学確約書を提出

☆所定の納付書により納付期間内に

入学料を納付



学力検査に基づく選抜日程

【出願】 2月7日（木） 8日（金）

【願書取下げ】 2月13日（水）

【願書再提出】 2月14日（木）

【検査】 2月23日（土）

【発表】 2月28日（木）



出願方法・手続

- 1校1コースまたは1科に限り出願できる

1回に限り志願変更できる

◆ 志望する同一の高校内に2科(2分野)
以上ある場合は**全てのコース・部または科**
に志願順位をつけて出願することができる。



志願変更・手続き

- 全日制からは全日制の変更のみ可
- チャレンジスクールからは全日制への変更も可
- 科・コースが異なっても志願変更できる。
- 同じ高校でも科が異なれば志願変更ができる。

手続き

志願変更願と受験票を中学校長の確認を経て出願した高校へ提出【入学願書など返却】



返却された書類・新たに作成した自己PRカード等を再提出日に変更先の都立高校に提出



受験票交付



学力検査などの実施・選考方針

- 検査教科…各高校が定める。
- 調査書・学力検査の結果・面接・小論文・作文など実施した高校はその結果を総合した成績で判断。
- 自己PRカードは点数化しないが判定資料となる。

特別選考

募集人員8割から9割を綜合成績の上位者より選考し、残り1割から2割を調査書・学力検査・面接の結果などを用いて選考する。

都立高校入学者選抜方法【一般】

- 多くの都立高校が
学力検査点+調査書点=総合得点（1000点）
として選抜。
- 学力検査点と調査書点の比重は
7：3　6：4　5：5　4：6を各高校が選択
- 一部の高校では自校作成問題で学力検査を実施



その前に

例 6:4の高校で傾斜配点を行わない学校の場合

◆換算内申のおさらい(例)

国語	数学	社会	理科	英語
3	4	3	3	4

合計

17

33

評

音楽	美術	保体	技家
3	3	4	3

合計

13

×

1.3

=

16.9

オール5は51

例 6:4の高校で傾斜配点を行わない学校の場合

換算内申33 学力検査300点だったら...

調査書点 400点

換算内申を換算内申満点の51で割り400をかけた数字が調査書点。

$$\blacklozenge 400 \div 51 \times 33 = 258$$

618

+

学力検査の得点 600点

500点満点を600点満点に置き換えるため当日の得点を1.2倍する。

$$\blacklozenge 300 \times 1.2 = 360$$

発表・手続き

- 願書提出校で発表
- 高校によりホームページ掲載もある。

合格したら...

- * 入学確約書を提出
- * 所定の納付書により納付期間内に入学料を納付

◆ 入学辞退者は当該高校へ入学手続き期間内に駒沢中学校から連絡するので必ず申し出ること

私立高校の特色

- (1) 学校独自の教育方針
- (2) 学習面での独自の工夫
- (3) 宗教・情操教育に特色
- (4) 部活の活躍を特色とする高校も。
- (5) 進路指導に力を入れている高校も。
- (6) 付属の高校でも大学に必ず優先入学できるとは限らない。
- (7) 公立より学費が高額。学校間の差が大きい。
- (8) 面接実施校が多い。



推薦入学制度について（私立）

推薦の基準

共通

- * その学校が第一希望であること
- * 心身ともに健康である(出席状況)
- * 生活指導上問題がない(頭髪・服装・生活態度等)

各高校の成績基準

- * **素内申**で基準を設けている



私立高校の推薦制度

進学希望



基準に達しているか



生活態度・成績・欠席日数など

事前相談 12月15日以降

願書受付 1月18日 以降
入学試験 1月22日 以降



併願入試について

- 「第1志望が不合格であった場合に**必ず入学する**」生徒を対象
- 基準…成績面では推薦入試より**基準が高い**
- 中学校と高校側の**入試相談**を経る。
- 日程・選考方法は**一般入試と同じ**。
- 入学手続き**は都立高校の合格発表日・または翌日まで

入学試験(私立一般)

- ほとんどの高校が**学科試験**と**面接試験**
- 面接試験の内容「志願理由」「得意・不得意科目」「委員会・部活動」など
*個人またはグループ面接

試験日 2月10日(水)以降



一般入試について

出願

【出願に必要な書類】

入学願書・調査書・受験料
(希望者は延納願)



指定調査用紙・都立用調査用紙など様々

*厳封して出願日に渡す。

出願開始日は1月25日(金)から



発表・手続き（私立一般）

発表

***入学試験の翌日か翌々日が多い**

***校内掲示・受験票と結果通知の引き替え・自宅に郵送などさまざま。**

***校内掲示の場合…第二希望合格・補欠合格など様々な結果が出るので全ての掲示板に目を通す**

手続き

発表日から3日以内が多い

《都立高校との併願の場合》

都立発表まで手続きを待ってくれる高校もあるが一部の金額を期間内に払い込まなければいけない高校もあるので募集要項をよく確認する。

第2回 進路説明会

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

平成24年10月13日(土)

